

世界と日本の出来事

World and Japan Events

官営八幡製鉄所操業開始	1901
日英同盟	1902
アメリカのライト兄弟が初飛行	1903
日露戦争（〜1905）	1904
ハーグ万国平和会議が開催される	1907
大逆事件／韓国併合	1910
日本が関税自主権を回復／中国で辛亥革命	1911
中華民国成立	1912
第一次世界大戦（〜1918年）	1914
日本が中国に21か条の要求	1915
ロシア革命（2月革命、10月革命）	1917
米騒動／スペイン風邪が世界的流行（〜1920年）／シベリア出兵（〜1922年）／原敬政党内閣（大正デモクラシー始まる）	1918
ベルサイユ条約（第一次大戦講和条約）／朝鮮で3・1独立運動／中国で5・4運動	1919
国際連盟発足	1920
ワシントン会議（海軍軍縮と極東・太平洋問題に関する国際会議）	1921
ソビエト連邦成立	1922
関東大震災	1923
治安維持法、普通選挙法	1924
金融恐慌が起こる	1925
張作霖爆殺事件／パリ不戦条約調印	1926
世界恐慌始まる	1927
昭和恐慌	1928
満州事変	1929
5・15事件／満州国建国	1930
ドイツでナチス政権成立／アメリカがニューディール政策／日本・ドイツが国際連盟脱退	1931
2・26事件	1932
日中戦争勃発／国民精神総動員運動で戦時体制が強まる	1933
国家総動員法	1934
ドイツ軍がポーランド侵攻（第二次世界大戦勃発）／国民徴用令	1935
基本国策要綱を閣議決定／「日本建国から2600年」（紀元2600年）として記念式典が繰り広げられる／日独伊三国同盟／大政翼賛会発足／生活必需品の配給制が始まる	1936
日ソ中立条約調印／小学校を「国民学校」に改称／日本が米英などに宣戦布告（太平洋戦争勃発）	1937
東京に初の空襲警報発令／ミッドウェー海戦	1938
イタリアの無条件幸福／カイロ宣言	1939
国民総武装決定／学徒勤労動員始まる／レイテ沖海戦	1940
ヤルタ会談／東京大空襲／沖縄地上戦／ドイツ軍無条件降伏／アメリカが世界初の原爆実験／日本がポツダム宣言を受け入れて降伏／GHQ（連合国軍総司令部）が日本を占領統治／国連成立	1941
東京裁判（極東国際軍事裁判、〜1948年）／日本国憲法公布／広島で初の平和宣言	1942
本国憲法施行	1943
学制改革で新制高等学校発足／朝鮮半島南部に大韓民国が、北部に朝鮮民主主義人民共和国が相次いで成立／国連で世界人権宣言採択	1944
NATO成立／ソ連が初の原爆実験／中華人民共和国成立／東西ドイツ成立	1945
朝鮮戦争勃発（1953年休戦）／企業のレッドパージ始まる／警察予備隊発足（後の自衛隊）／トルーマン、原爆使用について言及	1946
対日講和条約発効、日本が主権回復／日本IMF・世界銀行に加盟	1947
NHK、日本テレビが本放送開始	1948
アメリカがビキニ環礁で初の水爆実験、第五福竜丸が被災／原水爆禁止署名運動広がる／自衛隊発足	1949
「神武景気」で高度経済成長が幕開け／広島で第1回原水爆禁止世界大会	1950
「もはや戦後ではない」と経済白書に記述／水俣病公式確認／日ソ共同宣言／日本が国際連合加盟	1951
バグウォッシュ会議開催	1952
反対運動が高まる中で新日米安保条約成立／特別被爆者制度創設	1953
	1954
	1955
	1956
	1957
	1958
	1959
	1960

長崎の出来事

Nagasaki Events

長崎瓦斯（ガス）会社設立（翌年ガス供給始まる）	明治34
日露戦争に伴い軍事拠点の長崎要塞地帯区域は戒厳令が敷かれるなど、市では戦時一色となる	明治35
九州鉄道長崎線が台場町まで延長、長崎駅が設置される	明治36
浦上天堂献堂式	明治37
浦上ノ築町間に路面電車開通	明治38
三菱長崎兵器製作所が開設（唯一の民間魚雷製作所）	明治39
三菱造船長崎造船所が開設（唯一の民間造船所）	明治40
第一回国勢調査（長崎市の人口は17万6534人で九州1位全国7位）	明治41
長崎医科大学開設（現・長崎大学医学部）／上海丸・長崎丸（長崎―上海航路）就航／城山尋常小学校開校	明治42
現在の長崎市築町に公設中央市場完成／市営交船運航開始	明治43
鎮西学院中学校が長崎市東山手地区から竹の久保地区に移転	明治44
NHK長崎放送局開局（ラジオ放送）	明治45・大正1
国際産業観光博覧会開催／県営バス営業開始／新興善尋常国民学校が開校（戦後に新興善小学校）／雲仙が国立公園指定／長崎初の百貨店「岡政」開業	大正2
長崎市中心街の「観光通り」完成／長崎市防護団を編成	大正3
警防団編成	大正4
史上最大の戦艦、武蔵が三菱長崎造船所で進水	大正5
市立長崎博覧会開設	大正6
長崎丸が機雷に触れ沈没／戦艦武蔵竣工	大正7
長崎消防署設置／上海丸が崎戸丸と衝突し沈没	大正8
8月11日、米軍爆撃機が長崎市を初めて空襲／11月、長崎市で第1次建物強制疎開（1945年4〜7月に第2、第3次建物強制疎開）	大正9
4月26日、長崎市に第2次空襲、7月29日〜8月1日に第3次、第4次、第5次空襲／8月6日広島に原爆投下／8月9日長崎に原爆投下	大正10
原爆で被災した鎮西学院中学校が長崎市諫早市に移転	大正11
戦災復興土地区画整理区域決定／長崎復興祭開催	大正12
第一回長崎選挙	大正13
原爆障害調査委員会（ABC）開設／8月9日長崎市主催文化祭開催。市民代表（副市長）による初の平和宣言（市長による平和宣言は翌年の1949年から）が行われる／長崎くんち復活	大正14
城山小学校に嘉代子桜が植えられる／新制長崎大学開学／爆心地公園に原爆資料館開設／長崎国際文化都市建設法成立（復興のための特別法）	大正15
歌謡曲『長崎の鐘』流行	大正16
被爆者救援に尽力した医師の永井隆博士死去／城山小学校で少年平和像建立・第1回平和祈念式／長崎市営大橋球場開設	大正17
長崎復興平和博覧会開催／テレビカー長崎市民グラウンドで公開し35万人参加	大正18
国際文化会館開館（長崎原爆資料館の前身）／平和祈念像完成	大正19
長崎で第2回原水爆禁止世界大会／長崎で日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）結成大会／長崎原爆乙女の会結成／三菱造船所長崎造船所の年間浸水量が世界一になる	大正20
被爆者の店開店／長崎市総務部社会課庶務係で被爆者援護法事務開始	大正21
NHK長崎テレビ本放送開始／浦上天堂の遺構解体／長崎原爆病院開院	大正22
浦上天堂再建／長祭水族館開設	大正23
第9回国勢調査（長崎市の人口34万4153人で九州3位、全国14位）	大正24
	大正25
	大正26
	大正27
	大正28
	大正29
	大正30
	大正31
	大正32
	大正33
	大正34
	大正35

《参考文献》

市制百年長崎年表編さん委員会 編 (1989) 『市制百年長崎年表』長崎市 / 長崎新聞社 編 (2015) 『わかる!和華蘭『新長崎市史』普及版』長崎市

長崎原爆の戦後史をのこす会 責任編集 (2016) 『原爆後の七〇年：長崎の記憶と記録を掘り起こす』長崎原爆の戦後史をのこす会 / 中村政則 編 (1989) 『年表 昭和史』岩波書店